

ボーリングマイスター 『匠』東北に認定されて

有限会社八戸地下開発工業 相田 美浩



この度中央開発株式会社様の推薦によりボーリングマイスター（匠）東北に認定され大変光栄に思います。

平成2年春から弊社に入社しボーリング作業に携わることになりました。31年間で様々な業務をこなし、沢山の人の世話になりました。

自分で現場を任されるようになってから、一般建築基礎調査に始まり、十和田幹線の鉄塔基礎調査、200mの井戸工事、現場内水位降下補助工の400mm仕上げディープウエル工事、1000mのワイヤーライン工法、地すべり等の高品質なコア採取等の業務を熟してきた評価だと思っています。

また民間会社からの、埋蔵量調査や大

手建設会社からの詳細な地質調査等工事施工に伴う施主と打ち合わせしながらの業務も多くありました。

年数を重ねるごとに現場のスピード、品質、安全を求められますが、私は特に安全を第一に心がけています。大手建設会社の現場では、担当者や周りの作業者が注意喚起をしてくれますが単独の現場作業は安易になりがちです。

この機会に大手建設会社のスローガン「安全はすべてに優先する」「無事故で家に帰る」「慌てない」等を現場に活かす様にしています。

最後になりますが、このような機会を与えて頂きました、協会の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございます。

株式会社共同地質センター 本社 試錐部 岩崎 久彦



このたびは、ボーリングマイスター『匠』に認定いただきまして、誠にありがとうございます。地質調査にかかわってから35年となりましたが、このような名誉なことは自分自身にとっては想像もしておりませんでしたので、今回の認定通知には非常に驚いております。この原稿を書いている今は、鳴瀬川ダムサイト地質調査で125mと地すべり調査のボーリングに携わっております。

また、最近だと玉川ダムの地すべり調査は苦勞しました。豪雪地ということもあり、雪が降るギリギリのところでは何とか引き上げたことは記憶に新しいです。

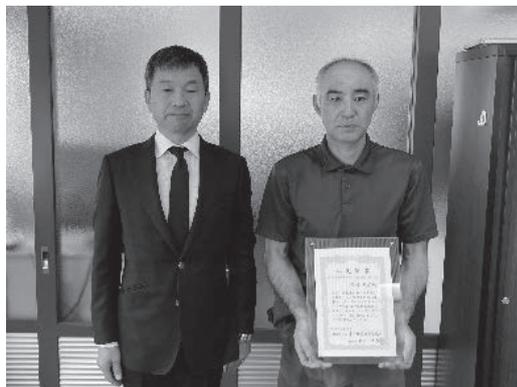
そういった、100m級以上の調査は毎年のように入っておりますが、調査した

ら調査しただけの地層に巡り合います。隣の現場では順調にいっているものの、自分のところはなかなか進まない、逆もしかり。それもまた、ボーリングのだいご味ではないでしょうか。

無事に終わった達成感は、今でも格別なものです。

50歳を超えて、自分よりも若い社員も増えてきていますが、これからは次世代へ自分の技術を引き継いでもらえるように、また自分自身もまだまだ成長できるように精進していきたいと思っております。

最後になりましたが、このような機会をいただきましたことに感謝いたします。



東北地質調査業協会前理事長より認定証を授与される